

## アカデミアの ほっと一息



～教授室だより～

### ■新たな出発！

2025年4月1日。私の市町村アカデミーでの勤務がスタートしました。

遠方への異動となることから、早めの打診があり、ある程度の心の準備はできていましたが、これまで研修業務に携わったことがなく、しかも慣れない土地での単身生活。不安がなかったわけではありません。新たな領域への挑戦でした。

1か月間ぐらいは、「生活している」という実感はなく、「出張に来ている」という感覚で過ごしていました。

### ■改めて知った行政の仕事の幅広さ

これまで、土木、総務、図書館、福祉、平和、議会など、さまざまな分野を経験してきたとはいえ、行政の仕事は幅広く、経験していない分野の研修を任されることも少なくありません。その分野では何が課題なのか、そしてどういった講師の講義を望んでいるのか。研修を企画するためには、とにかく調べるしかありません。これまで研修に参加した皆さんのアンケートにも目を通します。

研修企画を通じ、行政事務は多岐にわたっていることを再認識しました。行政職員の皆さんの力があってこそ、日本国民の生活が成り立っていると言っても過言ではありません。

### ■アカデミーでのお仕事

先に少し触れましたが、私はここで研修の企画と運営を担当しています。年間8本の研修を研修ごとに違う職員とペアになって担当します。

4月1日に着任し、早速2週間後には「教授会」という名の企画会議に諮らなければなりません。時間があまりない中、悩みに悩んで作り上げた企画が通り、講師との折衝、調整等を経て、先日、無事にその研修を終えることができました。

### ■きっと私だけ…

研修申込締切後、まず私がチェックするのは、自分の派遣元の自治体職員が参加しているか、そして、私の出身地の自治体職員が参加しているか…です。

それを知ったからと言って、ひいきするつもりは全くなく、ただ、その地元の話ができるかと思うとなんとなく嬉しくなるのです。

### ■私の「ほっと一息」の瞬間

それは、研修生が無事に研修を終了し、修了証書を手にするのを見た瞬間です。

修了証書を手にした後も教室にしばらくとどまり、一緒に勉強した仲間との別れを惜しむ姿を目にした時、とても幸せな気持ちになると同時に達成感を感じます。

そして、教室で全員を見送った後、私は自席に戻り、落ち着いたところで一杯のコーヒーを飲みます。これこそ、ほっと一息の瞬間なのかもしれません。

この瞬間を経験する機会が少しずつ減っていくことが少し寂しい気がします。

夜は夜で、一人打ち上げを開催し、自分を労うことも忘れません。(笑)

### ■幕張での生活

私の幕張での生活は、研修生と同様、とても有意義です。

初めて東日本で生活する機会を得ましたので、行ったことのないところに、行けるだけ行こうと思い、毎週末は出かけることにしています。今の目標は千葉県内全市町村の制覇です！

チーバ君を含めて、千葉県の良さを肌身で感じ、派遣元に帰ろうと思います。

私の人生の中で、千葉県で生活することになるなんて夢にも思っていませんでした。

この異動を引き受けなければ、こんな経験はできませんでした。

派遣元の人事担当課と当時の上司に感謝です。

また、こんな私を引き受けてくれ、いろいろ準備をしてくださったアカデミーの方々にも感謝です。皆さん、働きやすくくださりありがとうございます。



### 〈アカデミア担当職員からひとこと〉

研修が無事に終わった後の「ほっと一息」する瞬間。充実感と達成感、そして少しの寂しさが混じった特別な瞬間ですね。夜の一人打ち上げも楽しそう。(笑)  
県内市町村の制覇、応援しています！